

## 第6回中仙地域協議会 会議録

### 1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成18年3月24日(金)午前10時00分～11時50分
- ・場所 中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

### 2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 秋山 康委員 木元洋子委員 古村貞夫委員 佐藤昭男委員  
佐藤育男委員 高橋辰美委員 高橋亮光委員 高貝昇太郎委員  
傳農富士夫委員 平瀬一浩委員 藤澤英夫委員 藤田貞子委員  
藤田知也委員 以上13名
- ・欠席委員 齋藤麗子委員 佐々木郁彦委員 高橋國文委員 高橋尊雄委員  
長谷山祥子委員 以上5名
- ・市職員 大仙市長 栗林次美 企画部長 佐々木正広  
中仙総合支所長 大野 繁 中仙総合支所次長 後藤善良  
総合政策課長 小松辰巳 地域づくり課長 菅原正悦  
地域振興課長 田口元彦 総合政策課主幹 加賀勤悦  
秘書広報課主幹 小野地洋 地域づくり課主席主査 佐々木隆幸  
中仙総合支所地域振興課副主幹 田口祥吾 地域振興課主査佐々木好実  
以上12名

### 3 次第

#### 【開会】

会長が開会を宣言

#### 【会議の成立】

事務局から出席委員13名、欠席委員5名で2分の1以上の出席があり協議会の成立する事を報告。

#### 【会長あいさつ】

・傳農会長～本日はこのようにたくさんの方からご出席いただき衷心よりお礼申し上げます。昨年の12月から未曾有の大雪に見舞われまして、市民生活の安全確保のための市当局のご労苦に対しまして深甚なる敬意を表する次第であります。この雪害に要する経費は膨大なものになったのではないかと懸念するところもありますが、そこは市当局の腕の見せ所であろうと思いますので、よろしく願いいたします。ようやく、ここに来まして春めいた天候になって参りました。この後にまた寒波がこないことを祈るところです。さて、本日で第6回目の協議会となりますが、段々と熱がこもって参りまして市民の付託に答えられるようになって参りました。本日はご多忙の中、栗林市長からもご出席いただきありがとうございます。この後要望等に対しましてご回答をいただきますが、質問や意見等が沢山出ることと思いますのでよろしく願いいたします。

#### 【市長あいさつ】

・栗林大仙市長～ 中仙地域協議会の開催にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

委員の皆様には地域自治区の設置により、地域協議会を置くこととなり、全国的にも先例がない状況の中、地方分権時代のキーワード「住民の行政参加」「住民との協働」の趣旨をご理解され、お忙しいにもかかわらず月1回ペースの地域協議会の開催に対しましてご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。この後も引き続きよろしくお願いいたします。

今年の冬は、大雪に見舞われ、皆様もまさに雪との格闘を余儀なくされたことと思います。大仙市管内では、死者4名と負傷者36名の人的被害のほか多くの住家や農業施設が倒壊や損壊の被害を受けました。

市では、1月10日に豪雪対策本部を設置し、相談体制の充実や除雪体制の強化、市街地の集中的な除排雪に、早めに取り組み、市民生活に支障がないよう努めたところであります。この間、JA秋田おばこの職員や市内中学生による除雪ボランティア、総合支所ごとに除雪隊を編成し、公共施設の除排雪作業及び一人暮らし高齢者世帯の雪下ろし等を実施いたしました。

さて、大仙市は昨年3月22日、人口の減少や少子高齢化、高度情報化、国・地方の財政悪化、さらには地方分権の推進などに対応した新たな地方自治を構築するため、1市6町1村で市町村合併に取り組み誕生いたしました。

誕生までには、紆余曲折もありましたが、関係者のご努力と市民の皆様のご理解により大仙市は、2年目を迎えております。

誕生からこれまで、特に大きな問題もなく着実に新市の基盤を確立してきてことができましたのは、偏に地域協議会委員各位並びに多くの市民の皆様のご支援の賜と感謝申し上げます。

私は、昨年4月、初代大仙市長に就任以来、「市政は市民のために」を基本理念とし、情報公開や説明責任による開かれた市政の推進、住民参加よりさらに踏み込んだ「市民と協働のまちづくり」、職員が常に市民の目線に立ち、現場に足を入れ、市民と一緒に汗をかき、行政情報を出来る限り分かりやすく市民に提供する体制づくりに努めてまいりました。平成18年度におきましても、その姿勢を変えることなく市政運営に努めてまいります。

また、総合計画の初年度となります、平成18年度を、大仙市の実質的なスタートの年と位置づけ「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」の実現に向かって、着実な一歩を踏み出してまいりたいと存じます。

そのため、新市の都市機能を向上させる「駅前第2地区土地区画整理事業」を核とした、国道13号と結ぶ「駅東線街路整備事業」並びに「まちづくり総合整備事業」に続く、新たな「まちづくり交付金事業」を一体的に進めるとともに、神岡地域、中仙地域、協和地域の「まちづくり交付金事業」及び太田地域の「むらづくり交付金事業」などの推進にも努めてまいります。

大仙市の目玉事業として実施しております、小学校卒業までの「医療給付扶助」や満2歳未満児への「すこやか子育て手当金支給事業」を、大仙市の子育て支援策の主要な施策ととらえ、今後も継続できるよう制度の見直しを図りながら実施してまいりたいと存じます。

また、高齢化の顕著な地域事情に沿った、「介護予防事業」や「高齢者支援策」を進めてまいります。

さらには、地域医療の中核病院であります仙北組合総合病院の早期移転新築問題に積極的に取り組むとともに、現在事業を進めております一般廃棄物最終処分場などを着実に完成さ

せ、安全で安心な暮らしの基盤を構築してまいります。

県の建設中止の方針を受け、県と大仙市とで検討してまいりました、真木ダム代替案につきまして、2月1日にプロジェクトチーム会議としての意見が纏まり、2月10日、県より私に報告があったところであります。

治水対策につきましては、斉内川の河道改修により、事業着工から概ね10年で治水安全度20分の1を確保し、将来的には遊水池又は放水路で治水安全度50分の1を確保するとするものであります。

水道水源につきましては、斉内川は年間を通して水量を確保することが難しく、水利権を確保することが困難なこと、玉川の伏流水、仙北南地区へ供給する大曲地域の水道水及び地下水の三案については水質に問題がなく、水道水源として可能であると報告を受けております。

また、維持流量につきましては、既存幹線用水路により斉内川に導入することを検討しましたが、現状の施設では、経年劣化等から困難であり、今後の利水動向を踏まえ、維持流量の確保の可能性を探るとするものであります。

なお、治水対策は県が実施するものであります。できるだけ早期の整備を県に要望し、地域住民の安全の確保を図ってまいります。

大仙市は、総合計画の前期5カ年を、大仙市建設の基礎づくりの時期と位置づけ、市全体のバランスを考慮しながら、農林業振興、商工業・雇用対策、都市計画、子育てと教育、医療・保健・福祉、芸術文化スポーツ、情報基盤など、各分野における重要課題の解決に向けて努力してまいります。

特に、市民との協働のまちづくりを推進するため、平成18年度から地域振興事業、所謂、地域粋事業を実施いたします。

地域振興事業は、総合支所が地域協議会委員の皆様との協議により、自主的・主体的な市民活動の支援や地域が抱えている課題に対し、現地即決対応するための事業で、地域粋予算として大曲地域1000万円、その他の地域各500万円を予算計上させていただいております。

また、地域協議会委員の皆様を対象にした基調講演、意見交換会をメインとした研修会や、委員の皆様と総合支所の協議による視察研修等を実施し、新たな考え方も取り入れた活性化事業を考えたところであります。

そうは申しましても、平成18年度当初予算は、市税収入が低い水準にあることや、合併支援補助金の減、三位一体改革の推進による国庫補助・負担金の削減、地方交付税制度の見直しや人口減少により、歳入全体の伸びが期待できないことから、大変厳しい財政状況となっております。

こうしたことから、予算編成にあたっては第一に旧8市町村の既存の考え方にとらわれず、住民要望を十分把握し、真に必要な事業費をゼロから積み上げること、第二に合併協議会で協議された事項であっても、現在の厳しい財政事情を勘案して、事務事業の規模、必要性、優先順位等について、大仙市として統一した考えの基で検討することとし、普通建設事業につきましても、旧8市町村で持ち寄った計画をすべて実施することは、現在の市の財政状況では困難であり、大仙市全体の中で財源を含めて見直しをいたしました。

こうした状況のなか、中仙地域における主要事業につきましては、(仮称)八乙女研修宿泊施設大規模改修事業費として2億1150万7千円を計上し、八乙女公園とその周辺にあ

る多様なスポーツ施設のを活かしながら学校教育や社会教育など総合的な学習施設として、子供から高齢者まで幅広く利用できる研修宿泊施設にリニューアルいたします。道路新設改良につきましては七路線に5050万円を予算計上しております。旧街道の町並み保存と交通結節点の整備改善による観光振興を目的として今後の5ヵ年で整備するまちづくり交付金事業につきましては、18年度は二日町石持線などの整備費として1億9335万円を予算計上しております。また、上下水道整備につきましては、簡易水道事業の入角地区簡易水道施設整備事業費としまして、7710万円、農業集落排水事業田の尻地区分としまして2257万2千円を予算計上しております。

以上、総合計画の将来都市像の実現に向けて、皆様とともにまちづくりを進めてまいりたいと存じますので、これまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

## 【議事】

### (1) 会議録署名委員の指名

- ・会長が高橋亮光委員、平瀬一浩委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

### (2) 中仙地域における課題について(市長との協議)

- ・傳農会長～議題(2)中仙地域協議会における課題について協議致します。協議の方法について事務局から説明願います。

- ・事務局～これまで地域協議会で協議をしてまいりました中仙地域協議会における課題としまして、

緊急時の一時保育について

光ファイバー通信網の整備について

旧鍵見内保育所建物の早期解体について

八乙女多目的運動広場の早期整備について

中仙庁舎2階スペースの利活用について

の5項目を提案いたします。提案の要旨につきましては、あらかじめ市長に提案しておりますので、本日は始めに市長から提案された項目に対しての報告をいただき、その後、委員の皆様からのご意見、ご質問を受けたいと思いますのでよろしく願いいたします。

- ・傳農会長～ただいま事務局から本日の進め方について説明がありました。それでは、早速ではありますが、栗林市長から中仙地域協議会が提案しました五つの事項につきまして報告していただきたいと思います。それでは、栗林市長よろしく願いいたします。

#### 《 緊急時の一時保育について》

(提案要旨～一時保育につきましては、近年の核家族化の進展に伴い、保護者が病気等の理由により一時的に保育が困難になる場合に、緊急的に一時保育をしていただけるような仕組みがあれば良いとの要望がありますので実施されるよう提案します。また、一時保育は、現在のところ中仙地域では、中仙西保育園で実施されていますが、未実施の保育園においても実施していただくよう要望します。)

- ・栗林市長～中仙地域協議会からのご提案にお答え申し上げます。提案の第1点は「緊急時の一時保育の実施について」であります。現在未実施の中仙東保育園については、

4月から実施する予定であります。保育園で行事がある場合は対応できないこともあります。このような場合は、近隣に受け入れ可能な保育園がありますので、そちらにご相談をお願いします。なお、大曲保育会の各保育園でも実施しておりますので、事前に大曲保育会や、児童家庭課にご連絡いただければ対応できますので、ご理解をお願いします。また、病気中や病気回復期のため、集団保育ができない児童を一時的にお医者さんに預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援する「乳幼児健康支援一時預り事業」を、委託事業として実施しております。

#### 《 光ファイバー通信網の整備について》

( 提案要旨～インターネットによる通信が日常的で当たり前のことになって来ております。将来的なことを考えれば、光ファイバー通信網の整備は必要不可欠のものと思えます。しかしながら、残念なことに中仙地域ではこの分野での整備が進んでいませんので、是非とも光ファイバー通信網を整備されるよう要望します。それができない場合は、NTT東日本豊川局(57局)エリアにおけるADSLサービスが実現できるよう要望します。)

- ・栗林市長～提案の第二点は「光ファイバー通信網の整備について」であります。光ファイバー網の整備につきましては、通信事業者によりエリア拡大が図られておりますが、大仙市内では、人口密集地を中心に一部地域で利用可能な状況にあります。光ファイバーADSLによる高速情報通信網の整備は、高度情報化社会の中で重要な課題であります。中仙地域以外にも高速通信網の整備が行き届いていない地域があり、市といたしましては、県のADSL整備に対する補助事業であります「高速インターネットアクセス網整備促進事業」等を活用し、整備を図ってまいりたいと考えております。豊川局のADSLサービスについては、通信事業者と協議して参りますが、市民のADSLサービスへの参加がある程度見込めることが必要となります。市民からの要望の取りまとめができ次第、通信事業者との協議を進めるとともに、県の補助制度を活用し、実現に向け対応して参りたいと考えております。なお、NTTの不一致解消、いわゆる同じ0187の大仙市内でありながら中仙地域が角館局となっている件につきましては、大曲局に統一されるよう検討しておりますが、NTTから「同地域全員の同意が必要」との回答をいただいているところであり、今後、地域の皆様との話し合いを進めてまいりたいと考えております。

#### 《 旧鍵見内保育所建物の早期解体について》

( 提案要旨～旧鍵見内保育所については老朽化が著しく解体すべきではないかと思えますが、解体費用を18年度当初予算に要求したところゼロ査定であったと聞きます。利用予定のない建物であり、老朽化によるさまざまな危険が懸念されますので、早期の解体を実施されるよう要望します。)

- ・栗林市長～提案の第3点は、「旧鍵見内保育所建物の早期解体について」であります。老朽化が著しく、再利用できない建物だとすれば、解体する方向で検討すべきと考えますが、厳しい財政事情により今回は、見送らざるを得ない状況となりました。今後は、建物解体までの間、安全対策に万全を期してまいります。

#### 《 八乙女多目的運動広場の早期整備について》

( 提案要旨～サッカーやグラウンドゴルフ等ができる多目的運動広場については、既に八乙女球場に隣接した用地を取得しておりますが、いまだに整備の時期が決まって

いないようです。中仙地域の住民からも長い間この施設の整備が期待されており、早期の整備を望む声が多くあります。また、この運動広場は完成が間に合えば19年秋田わか杉国体では軟式野球競技のサブグラウンドとしても球場に隣接していることから大会運営も円滑に行えるなどのメリットがあると考えます。この八乙女多目的運動広場の早期の整備を要望するものです。)

- ・栗林市長～提案の第4点は、「八乙女多目的運動広場の早期整備について」であります。中仙地域協議会の要望については、十分に理解をしているところでありますが、平成18年度は、厳しい財政状況を勘案し、事業規模・必要性・優先順位をもとに予算化されている状況であります。今般、財源不足の中、八乙女研修宿泊施設が秋田わか杉国体の宿泊施設として18年・19年の2ヵ年にわたり大規模改修工事が実施されることから、まずはこの事業を優先し、施設完成後は、社会教育、企業教育等、環境の良い研修会場として大いに利用していただきたいと考えております。なお、国体ではこの地域での軟式野球のサブグラウンドは、近隣の太田球場等の施設があることから不要としており、八乙女多目的運動広場につきましては、土地の有効利用の観点から、今後検討して参りたいと考えております。

#### 《 中仙庁舎2階スペースの利活用について》

(提案要旨～合併により、中仙総合支所の2階にありました議会関係の議場、事務室、委員会室、議員控え室が空きスペースとなっております。事務室と議員控え室の間仕切りをなくして市民交流談話室として利用してはいかがかと思えます。議場については、床の段差をなくして照明音響を設備した多目的ホールとしての活用が良いのではないかと考えます。)

- ・栗林市長～提案の第5点は、「中仙庁舎2階スペースの利活用について」であります。庁舎の空きスペースの活用につきましては、地域協議会の意見も十分に考慮し、公用(市の業務に使用)または公共用(市民に開放)に使用することを検討しております。また、近く、民間に貸し出すことも可能になるよう地方自治法の改正が予定されております。いずれに致しましても、改修費用が必要となることから、十分な協議を重ねながら検討して参ります。

以上、地域協議会から寄せられた提案事項に対する回答であります。厳しい財政状況のなか、市全体のバランスを考慮しながら、課題解決に向け対応して参りたいと存じますので、みなさまのご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

- ・傳農会長～ありがとうございました。ただいま栗林市長から報告をしていただきました。委員の皆様からのご意見、ご質問を受けたいと思えます。何かございますか。緊急時の一時保育については、実現されるようですので、評価できるものとだというふうに思えます。非常にありがたいことだと思っております。光ファイバー通信網の整備について、何かご質問等ございませんか。
- ・秋山委員～光ファイバー通信の件につきまして市長よりご回答をいただきましたけれども、今人口密集地を中心として整備されているとのことではありますが、誰が光ファイバーを一番必要としているのかと考えたときに、一般の人ということばかりではなく、一番必要なのは企業の方々です。国道沿いの企業や旧商店街の方々が一番必要なのではないかと思えます。中仙の場合は合併前ですけれども、ここ近年は経済の成長

といいますか吸入率が非常に高くなってきておりまして、流出率は低くなってきておりますので、経済の規模自体は大曲には当然かなわないわけではありますけれども、そういった面では成長している地域であると自負しております。そういうわけですので、企業が必要としている光ファイバー通信を是非とも進めていただければありがたいです。

- ・ 傳農会長～ただいまの質問について市長からの回答をお願いいたします。
- ・ 栗林市長～一番この問題に詳しい総合政策課長が来ておりますのでそちらから回答いたします。
- ・ 総合政策課長～それでは、私の方から回答いたします。確かに委員の言われますとおり高度情報通信の整備は非常に重要な問題であると認識しております。しかしながら、行政としましては、住民の皆様が高度情報通信に対応できる環境を作ること、これがまず優先順位ではないかと考えます。企業の方々につきましては、その企業の営利を目的してやっているわけですので、それにつきましては、NTTさんと協議をしていただくということになるかと思えます。光ファイバー網の整備につきましては、これは広げられれば広げられるほど出来ればよい訳ですけど、自治体がやるということになりますと、かなり経費負担になるという問題があります。国の補助制度もございしますが、やはり自治体からの負担がかなり大きくなります。現在ADSLさえ入っていない地域があるというのが現実でありまして、さしあたってはこのADSLによる高度情報通信網の整備を県の補助制度を使って環境整備をしてみたいと考えております。ただいまのご質問の件につきましては、企業振興という立場から企業からの要望があるということをお話しながら、光ファイバー網の延長についても私どものほうからもお願いをして参りたいと思えます。
- ・ 傳農会長～先ほどの市長の回答の中で電話局の変更についてのお話がありましたが、大曲局に変更になりますと、逆に角館局が市外局番になるのでしょうか。
- ・ 総合政策課長～現在、大仙市内では中仙地域と協和地域が大曲局以外となっております。中仙地域は角館局となっております。これを住民全員の賛同が得られれば大曲局に変更できるとのNTTの回答はいただいております。この場合変更いたしますと、当然ながら角館局は市外局番となりますので、0187からかけていただくこととなります。
- ・ 傳農会長～はい、理解をいたしました。ありがとうございます。他にございませんか。それでは、先に進みます。旧鍵見内保育所建物の早期解体については安全面に配慮するとのことです。皆さんよろしいでしょうか。(特に意見なし)次に八乙女多目的運動広場の早期整備についてご質問ありませんか。
- ・ 平瀬委員～地域協議会の班毎の現地調査なども致しまして、この運動広場につきましては、既に用地も取得済みだということでした。長い目で見ますと確かにサッカーやグラウンドゴルフ場として市民が憩える多目的広場にしたいということになりますが、ただし、今19年の秋田わか杉国体に向けては、先ほどの回答の中でも国体の時に使わない市内の球場、グラウンド等の施設があるということも理解はできますが、それでは会場が遠くウォーミングアップしても移動中に冷えてしまいますし。また、八乙女球場の周辺だと駐車場はありますが、実際には駐車場で試合前にランニングやキャッチボールをするための運動は出来ない状況であります。せっかく球場の隣接地に

用地がある訳ですので、立派なものにしなくても、せめて整地だけでもしていただければ、それらが出来るようになるとの声がありました。全国から来ていただく選手の皆さんに良い状態でプレイしていただけるようにしたいという思いもありまして提案させていただきました。

- ・栗林市長～八乙女公園の一带は大変すばらしい環境です。この環境を活かしながら更に周辺施設を整備してゆく必要性につきましては十分に認識しております。この多目的運動広場の整備の問題につきましても十分に検討してまいりましたが、財政的に非常に厳しいものですから、まずは八乙女研修宿泊施設を改修し整備することを優先させていただきたいと、このように思っております。
- ・傳農会長～ありがとうございました。平瀬委員よろしいでしょうか。
- ・平瀬委員～はい、わかりました。色々な方面から要望がありましたので出させていただきました。財政事情もあるようですので理解をいたしました。
- ・傳農会長～次に 中仙庁舎2階スペースの利活用についてご質問ありませんか。
- ・佐藤(育)委員～ただいま市長から、市民が利用できる多目的ホールとしての活用も検討されているとお話をお聞きしましたが、私たちも色々と検討して提案をしたところではありますが、最近の議会のほうの話をお聞きしますと、大曲庁舎に各部局の組織が集中しているために狭くて、そのために増設や新たな庁舎を設ける事が検討されているようでありますが、各総合支所に空いているスペースがありますので、お金をかけて増設したりするよりも、この空きスペースを利用するのが良いのではないかと考えますがいかがでしょうか。
- ・栗林市長～仕事の組織機構とも絡んできまして、本庁と総合支所という仕組みで、総合支所には地域協議会を置くという仕組みでやっていくことにいたしました。合併市町村によって色々な方式を取っているわけではありますが、分庁方式という形で旧市町村に部局を配置してやっている市町村もございます。大仙市では組織の一体性や仕事の効率性を考えまして、本庁と総合支所を置き、支所には地域協議会を設けまして地域の課題や声を行政に反映できる形を取らせていただきました。確かに本庁に職員の数が多いわけでありまして、総合支所に空きスペースがあるわけであります。しかしながら、あまり分散してしまいますと仕事の効率性がなくなるという問題がございます。一部移しておりますけれども、今回の2月の議会の承認を得まして、本庁の旧大曲庁舎があまりにも狭隘ですので、すぐ近くに建設部を移そうと思っております。色々と総合支所への移転も検討いたしましたが、あまり離れてしまいますと仕事をやる上で非常に能率、効率が悪くなるということでありまして、そういう形での総合支所の活用は検討からはずさせていただきました。本庁に近いところに建設部を移すということにしたところでもあります。総合支所につきましては、住民の身近なところでもありますので、身近な機関に入ってもらえる可能性があるのではないかと考えておりますので、ご了解をいただきたいと思っております。
- ・傳農会長～ありがとうございました。佐藤委員よろしいでしょうか。(はいの声あり)  
この件につきましては、この後も継続して協議してまいりたいと思っております。これで、提案しました5項目についての質問が出ましたが、他に何かございませんか。よろしいでしょうか。特にないようですので、市当局からはご回答をいただきありがとうございました。ただいまの回答によりまして、今後継続して検討されるものもございま



すので、われわれもこれを忘れないで、更に協議してまいりたいと思います。以上で中仙地域協議会における課題についての協議を終わります。ここで、午後 11 時 5 分まで休憩いたします。

(休憩 午後 10 時 55 分 再開 午後 11 時 5 分)

#### 【大仙市総合計画について】

- ・ 傳農会長～会議を再開します。次に次第 5 大仙市総合計画につきまして総合政策課より説明をお願いいたします。
- ・ 総合政策課長～(資料に基づき説明。)
- ・ 傳農会長～ただいま総合政策課長から大仙市総合計画についての説明がありました。委員の皆様からご質問ご意見等がありましたらお願いいたします。ただいまの説明の中で人口の推計がありましたが、自然減などもあるかと思いますが、少子化対策を踏まえての推計でしょうか。
- ・ 総合政策課長～現在少子化対策でさまざまな施策を実施しているところではありますが、現実には少子化との傾向がますます進んでいるという状況でございます。国が示している数値よりも更に低い状況であります。一気に人口が増えるということの期待は出来ないと思います。計画の中では、定住人口だけでなく交流人口も増やすことによってまちの活力を維持してゆくということを考えながら推計をいたしました。
- ・ 傳農会長～ありがとうございました。ただいま説明されました総合計画については、まずじっくり読む必要があるかと思えます。製本されたものが市民にも配られるのでしょうか。
- ・ 総合政策課長～4月1日の広報に本日お示ししました計画の概要版が掲載されますので、そちらもご覧いただきたいと存じます。製本します冊子についてはかなり厚みのあるものになります。こちらの冊子は関係機関と地域協議会委員の皆様にお配りすることにしております。
- ・ 傳農会長～ありがとうございました。他にご質問ございませんか。
- ・ 佐藤(育)委員～資料を拝見しますと普通建設事業費については17年度よりも18年度の方が多くなっておりませんが、これはどのような理由によるのでしょうか。
- ・ 総合政策課長～普通建設事業費が増えているとのご指摘ですが、これは、合併前からの旧市町村時代から計画されていきました事業についても、合併したから全て取りやめるといふことにはなりませんので、結果的に前年度よりも事業費の増となったものであります。
- ・ 傳農会長～他にございますか。
- ・ 秋山委員～細かい話で恐縮ですが、実施計画・農産品振興・高品質良質米の生産の項目のところで航空防除という言葉がしょっちゅう出てくるわけですが、航空防除は有人ヘリコプターの場合です。有人ヘリコプターによる防除は早々になくなると聞いておりますがどうでしょうか。
- ・ 総合政策課長～航空防除につきましては、有人から無人化への方向に事業が移りつつありますが、ここに掲載してありますのはそれらを総合的に併せた航空防除への補助という事でご理解をいただきたいと思えます。

- ・ 傳農会長～他にありませんか、無いようですのでただいま提案されました大仙市総合計画を了承してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

異議がないようですので、了承することにいたします。以上で大仙市総合計画についての協議を終わりました。ご説明ありがとうございました。

#### 【その他】

- ・ 傳農会長～その他について、を議題とします。本日はせっかく市長さんが見えられておりますので、この機会にみなさんからご要望等をお聞きしたいと思えます。なにかございませんか。そうすれば、私の方から一つお聞きしたいことがございますが、この前の議会におきまして、市議会議員や特別職の報酬が改定されたわけでありませけれども、かなりアップされているようであります。この財政難の中でアップしたということは、議員のみなさんがこの財政難ということをご理解した上での事なのでしょうか、
- ・ 栗林市長～議員報酬の改定につきましては、報酬審議会を作らなければならい事になっております。その審議会に執行部が作りました案を諮問し答申されたものにより議会にかけたものです。審議会の意見答申を尊重したものであります。執行部で案を作りましたが、近隣の同規模の市の資料なども示しながら、私は議会にもご相談しながら審議会にお諮りしました。結果的には条例上の規定が高くなっておりますので、議員の報酬がアップした形になりますが、全国的に見ましても、また同規模の市とも比較してみましても大仙市が特別に高いということではありませんのでご理解願いたいと存じます。
- ・ 傳農会長～議員報酬が毎年上がるようなことはありますか。
- ・ 栗林市長～審議会を毎年開くというものでもありません。ここ2・3年の間は財政状況が好転しない限り考えにくいですし、もっと財政状況が悪くなれば、引き下げを審議会にお諮りすることになるだろうということしか考えられません。
- ・ 傳農会長～ありがとうございました。他にございませんか。学校関係の事で何かありませんか。
- ・ 平瀬委員～先ほどからお金がないということですのでよくわかりました。
- ・ 栗林市長～まるっきりないというわけでもありませんが、ない中でいかにして有効に使っていくかを地域協議会の皆様とともに知恵を出し合って考えて参りたいと思えます。それからおそらく早晚大変問題になりますのが学校の問題であります。改築の件や少子化の件がある意味で大仙市としましては、一番大きな問題になってくると考えております。こういうところに財源を確保していく必要があるかと思えます。今小中学校が43校ありますので、そこに一番手当をしていかなければならないと考えております。極端な事をいいますと道路整備を半分にしてでもこれに充てていかなければならないのかなと思えます。
- ・ 傳農会長～ありがとうございました。他にございませんか。
- ・ (なしの声あり)
- ・ 傳農会長～他にないようです。栗林市長には、いずれまた機会を設けて親しく懇談する機会を持ちたいと思えますので、その節はよろしく願います。また、毎年

8月16日に開催しております中仙地域恒例のイベントでありますドンパン祭りの予算についても認めていただいたようです。今年も是非ともご参加いただき、輪の中に加わって踊っていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。以上でその他についてを終わります。本日は皆様ご出席いただき誠にありがとうございました。

**【閉会】**

会長が閉会を宣言